

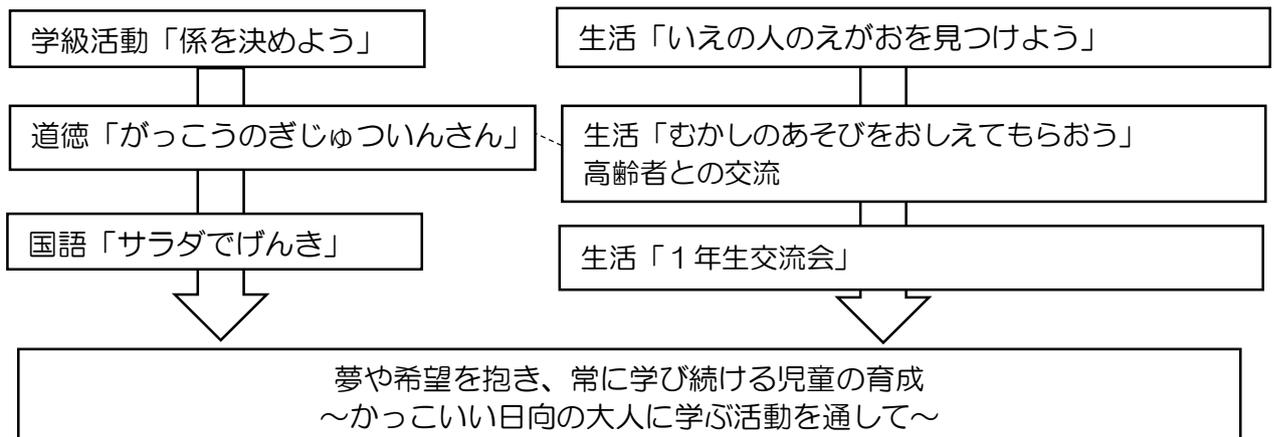
1 主題名 世話になっている人「資料名：がっこうぎじゅついんさん」

2 ねらい

- 日ごろ世話になっている人に感謝しようとする心情を養う。
- 川邊先生の話の聞いたり、仕事を見たりする中で、感謝の気持ちを持ち、自分たちができていることを考えることができる。
(キャリア教育：分かる力)

3 講師 川邊 貴幸さん【日向市立財光寺小学校 学校技術員】

4 教育活動間の関連 (⇒活動の流れ・……活動間の関連)



5 学習指導計画

段階	学習内容及び学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆キャリア教育		資料準備
			指導者	外部人材	
導入 (5)	1 財光寺小学校で働く人について知る。 ○ 勉強を教える先生だけでなく、子ども達が、安全で楽しく学校生活を送ることができるように支えてくれる人達がいることを知る。 ○ 川邊先生の仕事をしている写真を見て考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務室は、校長室の隣だ。 ・ 給食室前かな。 ・ 棚を作っている。 ・ 道具がいっぱい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務室には安全で楽しく学校生活を送ることができるように支えている先生がいることを伝える。 ○ 学校技術員さんの存在を知る。 		事務室の写真 仕事をしている写真
展開前段 (15)	2 「がっこうぎじゅついんさん」を聞いて話し合う。 ○ モップで拭いている技術員さんを見て、しょうた君はどんなことを思いましたか。 ◎ きれいになっていく壁を見て、しょうた君はどんなことを思いましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大変そうだな ・ 滑らないように気をつけよう。 ・ これからは汚さないようにしよう。 ・ きれいにしてくれてありがとう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ しょうた君の気持ちを考えて話を聞くように伝える。 ○ 子どものことを考えて仕事をしている技術員さんの気持ちに気付かせる。 		場面絵

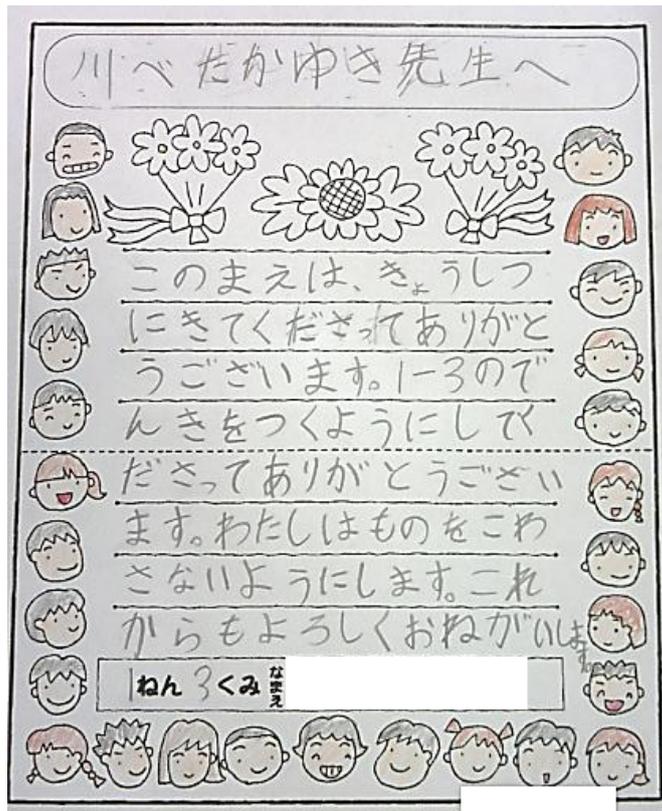
<p>展開後段 (23)</p> <p>展開後段 (23)</p>	<p>3 財光寺小学校の学校 技術員である川邊先生の話を書く。</p> <p>○ 川邊先生の紹介</p> <p>○ 川邊先生の仕事について話を聞く。</p>    <p>4 宝物のような場所にするために、自分たちができることを考える。</p> <p>・ これから、自分たちができること。</p>	 <p>・ 1年生と関わりのある仕事を写真で紹介する。</p> <p>○ 川邊先生に質問する。</p> <p>○ これから自分たちができることを考える。</p> <p>・ 大切に使いたい。</p> <p>・ けがをしないように気をつけたい。</p> <p>○ 感謝の気持ちを言葉にして伝える。</p>	<p>○ 「学校を支えるプロ」として紹介する。</p> <p>○ 川邊先生に質問する。</p> <p>① 川邊先生のお仕事を教えて下さい。</p> <p>・ 子ども達とやりとりしながら、仕事について説明する。</p> <p>・ 壊れた機の修理をお願いする。</p> <p>② どんなことを思いながら、仕事をしていますか。</p> <p>☆ これから自分たちができることを考えさせる。</p>	<p>○ 簡単に自己紹介をする。</p> <p>○ 1年生との関わりについて話す。</p> <p>・ 給食準備</p> <p>・ 掃除ロボットの修理</p> <p>・ 砂場作り</p> <p>・ あさがおの棚作り</p> <p>○ 実演する。</p> <p>○ 答えられる範囲で答える。</p> <p>☆ どんな思いで仕事をしているか話す。</p> <p>・ みんなにとって宝物のような場所にしたい。</p> <p>・ 安全で安心な場所にしたい。</p>	<p>ネームプレート</p> <p>仕事カード</p> <p>写真</p> <p>机</p> <p>ねがいカード</p>
<p>終末 (2)</p>	<p>5 感謝の気持ちを川邊さんに伝える。</p>	<p>○ 感謝の気持ちを言葉にして伝える。</p>			

※ 副読本では「がっこうのようむしゅじさん」となっているが、今回は、本校の実態に合わせて「がっこうぎじゅついんさん」に変更して、場面絵を使って読み聞かせを行った。

6 板書計画

<p>がっこうをささえるぷろ</p> <p>ねがい</p> <p>たからものようなばしょ たのしいばしょ あんぜんで、あんしんできるばしょ</p>	<p>・ きゅうしょくのおせわ</p> <p>・ そうじようぐ</p> <p>・ でいりぐち</p> <p>・ すなばづくり</p> <p>・ 竹うまのりばづくり</p> <p>・ あさがおだなづくり</p> <p>・ かだんづくり</p>	<p>場面絵</p> <p>よこすのよそつ。</p> <p>・ ありがとう。</p> <p>だ。つてくんが、いっつもさんや</p>	<p>場面絵</p> <p>こはなたいへんそうだ</p> <p>う。はしらないでい</p>
---	--	---	---

7 児童の感想



8 授業後の感想

「がっこうのようむしゅじさん」の資料を扱った道徳の授業の後に、実際に学校技術員の川邊先生に来ていただいたことで、授業への関心・意欲、道徳的価値を高めることはもちろんだが、キャリア教育の面でも大変学びが大きかった。

まず、道徳的な面だが、川邊先生が仕事をするとき、「大切に使ってくれたものが壊れた時に修理するのは楽しいが、乱暴に扱って壊れた物を修理する時は悲しい」というお話を聞いて、子ども達は物を大切に使うという気持ちが高まっていた。また、学校の様々な物を修理したり、作ったりしてくれている川邊先生に感謝する気持ちを持つことができた。

また、キャリア教育の面では、道具を使っての実演では状況に応じて道具を使い分けていることを説明したり、道具の使い方を説明したりしたことで、「すごい。」「かっこいい。」という声があがり、働く大人のかっこよさを感じていた。チェーンソーを使っての実演では、大きな音がして何も聞こえないので、側に来たら危ないという話もして下さり、子ども達は安全面も学習することができた。

学習後の子ども達は、川邊先生を見かけたら「川邊先生!!」、「おはようございます。」と声をかけるようになった。川邊先生が作業をしているのを見かけると「何をしているんですか。」と作業に興味をもつようになった。川邊先生が作ったり、修理した物を紹介したりすると「えー！これを作ったの?」、「やっぱり川邊先生はすごいな。」など川邊先生を尊敬するような声が聞かれるようになった。

以上のように、今回の授業は道徳の授業であったが、道徳の面だけでなく、キャリア教育や安全教育に広がりがあり、子ども達にとってとても有意義な学びのある授業になった。